



同窓会会報

同窓会員総数 4,147名(平成23年9月1日現在)

-第4号-

平成23(2011)年10月1日

VOL. 4

発行者：安藤昌廣

同窓会事務局：

〒963-0201 郡山市大槻町字古屋敷102

郡山ザベリオ学園内

TEL (024) 952-7756

FAX (024) 952-7014



■ 昭和39年の運動会で「東京五輪音頭」

● 母校バザー同窓会コーナー
喫茶「オアシス」● 13回 東北音楽教育研究会郡山大会
● 10回 福島県音楽教育研究会郡山大会

■ 昭和40年8月 体育館・講堂・中学校校舎落成式(虎丸町)

● 中学校男女共学第1期生
(第44回卒・現在高2)
(2007年夏祭り)● ピアニスト向山良作さん(第14回卒)
によるコンサート(2011年9月1日 母校)

■ 昭和40年度 NHK全国学校音楽コンクールにて 合唱の部・合奏の部

2013年、第1回生が小学校を卒業して50年になります

校章について 校章の形にはカトリック精神に基づいた我が校の校訓が表されています。



清 くー は聖母マリアを表し、無原罪の汚れのない聖母のように

明るくー は初めて教えを伝え、愛と真理の光を放った聖フランシスコ・ザベリオに倣つて世界の光となるように

強 くー 清さと明るさをしっかりと保っていける真の力をもつ人(人)になれるように



ご挨拶



郡山ザベリオ学園同窓会

会長 安藤昌廣

3月11日に発

生しました三陸沖を震源とする国内最大規模のM9・0の巨大地震による想定曾有の大災害から半年がたちました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

さて、本年6月25日に開催された同窓会総会において、佐藤善彦前会長の後を受け、会長に就任しました4回生の安藤です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

退任ご挨拶

郡山ザベリオ学園同窓会

直前会長 佐藤善彦

3月11日の中学校卒業証書授与式終了後に起こった大震災から早6ヶ月が経過しました。今回の震災にて被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、2006年6月24日に開催された同窓会総会にて鈴木淳策会長の後を受け、会長を引き受けてから早いも

ので5年が経過致しました。その間、同窓会役員・会員の皆様並びに学園長を始めとする教職員の皆様には、大変お世話になりましたこと心よりお礼申し上げます。

顧みますと2007年には中学校の男女共学化がスタートし同窓会として学園



寄付金を手渡す佐藤会長

原発関連では、ザベリオ学園小・中学校に関わる施設の環境放射能測定を行つていて、毎日の昼の放射線量をホームページにアップしています。マリアの広場は、高圧洗浄機やデッキブラシ等を使用し除染作業を行いまし

「福島の再生なくして日本の再生はない」、野田新総理の言葉です。原発問題は、簡単に終息する訳ではなく、今後、長い時間を要する厄介な代物です。同窓会の皆様の今まで以上のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

の施設拡充のために寄附をさせていたきました。又、学園バザーでは同窓会コーナーを充実させ、毎年多くの会員の皆様から手作り作品・物品をご提供いただき売上を寄せさせていただくとともに喫茶コーナーにて同窓生の旧交を温めていただいております。

今後は、同期生である安藤昌廣会長に後を引き継ぎますが、どうか私同様会員の皆様の倍旧のご厚情とご支援・ご協力を願いし、退任のご挨拶とさせていただきます。5年間ありがとうございました。

学園バザー

母校バザーでは、多くの皆様のご協力により、

喫茶コーナー「オアシス」、美術部OGによるカレンダー作成販売、5年2組教室での手作り作品・物品販売も恒例となりました。同窓会コーナーを楽しみにご来場下さる方も増えています。今後も継続して参加予定ですので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。(原)



同窓会総会

選の全議案が満場一致で採択されました。続いて守屋学園長から新生ザベリオ学園についてのお話があり、同窓会は、安藤新会長の下、今後とも母校に協力し、貢献していくことが決議されました。佐藤前会長には顧問として引き続き同窓会にご協力いただくと共に大変お世話になりましたこと、紙面をお借りしてお礼申し上げます。会員の皆様には今後とも同窓会活動にご協力ををお願い申し上げます。(岡田)

本年度の総会は、平成23年6月25日(土)午後4時より、母校ザベリオ学園の会議室にて開催されました。同窓会顧問守屋学園長、駒田校長、会議室にて開催されまし

た。同窓会顧問守屋学園長、駒田校長にご出席いただき、平成22年度活動報告・

活動計画・予算案、役員改選の全議案が満場一致で採択されました。また、開校当時から行っていた学園バザーが10月30日に開催されます。同窓会コーナー・喫茶室もありますので、是非お出かけください。

7月には、音楽祭、夏祭りも保護者、学園の努力により開催されました。また、開校当時から行っていた学園バ

た。子供達に安全を、保護者に安心を創設されてから、今年で53年になります。1964年には、中学校が併設され、虎丸町にあつた学園が、現在地に移転したのが1987年で、2007年からは、中学校が男女共学になりました。卓球部は健在で、新たにできた剣道部の躍進も目覚ましいものがあります。進学実績をみても、実践的な英語教育、本校独自のカリキュラム等により、トップレベルの学力を維持しています。学力向上と部活動が両立されています。

7月には、音楽祭、夏祭りも保護者、学園の努力により開催されました。また、開校当時から行っていた学園バ

た。子供達に安全を、保護者に安心を創設されてから、今年で53年になります。1964年には、中学校が併設され、虎丸町にあつた学園が、現在地に移転したのが1987年で、2007年からは、中学校が男女共学になりました。卓球部は健在で、新たにできた剣道部の躍進も目覚ましいものがあります。進学実績をみても、実践的な英語教育、本校独自のカリキュラム等により、トップレベルの学力を維持しています。学力向上と部活動が両立されています。

7月には、音楽祭、夏祭りも保護者、学園の努力により開催されました。また、開校当時から行っていた学園バ

「生かされている喜びを感じ、

他者のために尽くす人づくり」を目指して



学園長
同窓会顧問

守屋博子

同窓生の皆様、はじめまして。今年の4月から郡山ザベリオ学園、会津若松ザベリオ学園、両学園長に就任いたしました。就任前、3月11日に今まで誰もが経験したことのない大きな震災を受け、郡山地域は震災の上にさらに原発の厳しさに直面しています。感情に流されず、歴代の学園長であればこんな時どのように祈り、子供たちのために対応をされるのか、深く考え、正しく判断できますように、多くの方々に支援をいただき、学園発展のために微力ながらお役に立つ覚悟を新たにしています。

神様は私たちにそれぞれ使命をお与えになつて、この世に送り込まれました。ザベリオ学園は「人は皆、誰もかけがえのない大切な人だ」と教える学園です。他人のために尽くす、他人の幸せを願い、その中に自分も幸せも見いだす心を持つ子供たちを育てる学園です。そのためには「高い学力」とこれから未来社会をより良く生きぬく人間力を子供たちにつけなければならぬと深く思っています。郡山に住んで約半年、同窓生の皆様、後援会の皆様の支援なくして、学園の発展は

ないと確信をしています。
78年間献身的にこの学園を育んでこられた無原罪聖母宣教女会が3月に全員が理事から退かれました。この伝統を大切にしながら、新しい学園としてチャレンジをしていかなければなりません。新理事長は日本カトリック小・中・高連盟委員長であり、信徒である高橋博氏を迎え、新理事として仙台教区教平賀徹夫司教、元福島県教育長杉原陸夫先生、菊池病院院長菊池辰夫先生をお迎えし、郡山でただ一つの私立学園として、福島のため、日本

のため、世界のために尽くす人を育てるための教育改革を一層めざしていきたいと願っています。そのためにも地域の方々から同窓会の皆様から愛されるための教育改革を一層めざしていきます。しかし、高齢化したシスター方が、この3月に引退して、会津若松や東京の修道院に移りました。そして、今までシスター方が使用していたデリア館（修道院）が幼稚園の預かり保育、小学校の学童保育、放課後のアフタースクールの場所として提供されました。学園運営もカトリックの信徒であります。新学園長と共に託されました。つまり、2011年度は本学園にとりましては、新しい出発の年であります。

この準備を進めていた3月11日午後2時46分、中学校の卒業式が終わり最後の生徒を送り出すために、昇降口に向かおうとした時に大きな揺れを感じ、マリアの広場に飛び出しました。授業中であった小学生は、余震の合間にぬつて9台のスクールバスに学年ごとに分けて乗せ保護者の迎えを待ちました。一番最後のお迎えは明け方近くになりましたが、全員無事に親元にお返した時はホッとしました。

~先人たちの“想い”を胸に、未来に向かつて~

一人ひとりが輝けば、社会は輝きます。その一人ひとりを送り出すこと。それが「新生ザベリオ」の使命です。

郡山ザベリオ学園は、2011年3月、無原罪聖母宣教女会が退かれました。カトリック精神はそのままに、更なる飛躍を目指しています。

新しい出発の年



小・中学校 校長
同窓会顧問

駒田瑞穂

千年に一度と言わる大震災の後は、まるで悪夢を見ているようでした。特に原発事故の不安から児童、生徒が転校していくのが辛かったです。お陰様で、郡

山もだんだん放射線量が下がり屋外での活動も少しずつ増えてきました。子ども達も自分達も大変だけど、もっと大変な人々を助けたいとボランティア活動に励んでいます。また、本校にも世界中の国々や全国の多くの方々から愛され、このようにシスター方が伝えてくれた愛の精神が大きな力となり、支え合っていることを今、実感しています。



平成24年度 生徒募集要項

幼稚園（男女）

定員

1年保育：若干名

2年保育：約50名

3年保育：約70名

※満3歳の誕生日から入園可
願書受付／2011年9月10日～
受付／10月1日～

小学校（男女）定員 80名
◆出願期間／11月1日～11月10日
◆選考日／11月13日

中学校（男女）定員 80名
◆出願期間／12月1日～12月8日
◆選考日／12月10日

後期選考有。詳しくは事務局まで

皆様のお力を支えに

教頭 熊田洋子

(昭和51年10回卒)



同窓生の皆様、お元気でご活躍されています。私は縁あつて平成10年から本学園中学校にお世話になり、早いもので12年が過ぎました。数学の教師として、またソフトテニス部の顧問として、たくさんの方々ともお会いがありました。またいつも笑顔を絶やさず、あたたかいお声掛けをしてくださいました。前学園長先生をはじめとするシスター方の存在がこの学園の原点だといつも感じてまいりました。

このたび、震災直後の3月にご退職された坂本由宇子前教頭先生の後を受け継ぐことになりましたが、まだまだ未熟なために反省する毎日です。幼稚園から人一倍お世話になつてきた私ですので、この学園のために、そして遠くの修道院で私たちのことを見つめ守つてくださるシスター方のご期待に少しでも応えられるよう、精進して参りたいと思っております。

同窓生の皆様の目に映る今の「ザベリオ」はいかがでしょうか? 忌憚のないご意見をお寄せください。またお時間がございましたら、大槻町の校舎へも足をお運びください。お待ちいたしております。

母校だより

▲3年修学旅行 平戸、ザビエル記念教会

小学校……7月。夏休み前のピッグイベントといえば「七夕音楽祭」です。2年前から小中合同で音楽祭を行っています。今年は、例年とは違った雰囲気の音楽祭となりました。どのクラスも「ザベリオ学園を元気にしよう!」と、『心をひとつに!』を合言葉に素晴らしい歌声を響かせていました。

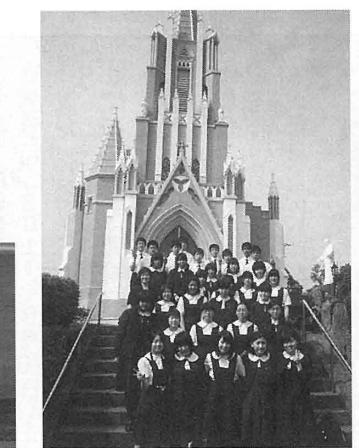
また、全校児童・生徒が保護者・保護者OBの方・有志の中学生・職員によるバンド演奏で『猪苗代湖ズ』の『LOVE YOU I NEED YOU 福島』を合唱しました。震災を忘れるほどの楽しさで、とても有意義なひとときを過ごせました。(斎藤和則)

中学校……男女共学5年目の23年度は男子25名、女子44名の新入生を迎えてのスタートとなりました。震災の影響で4月に予定されていた修学旅行・研修旅行は5月に延期され、部活動も外での競技はすべて屋内練習になるなど、規制の多い1学期となりましたが、子どもたちはいつも以上に明るく元気に生活しようとしていました。

被災した小学生や中学生のために、生徒会が未使用のものを中心とした文房具類集めの呼びかけをしたところ、段ボールに30箱ほどの「支援物資」が集まり、3年生が仕分けをして避難所へも足を運んでいます。



▶ 寄付された鉛筆を削っている 中学3年生



◀ 剣道部 卓球部 ▼



平成23年 進学先

部活動でも、今夏創部6年目の剣道部と特設水泳部が東北大会へ、卓球部と吹奏楽部が県大会へ出場するなど平日の短い練習時間を克服し、大きな成果をあげています。(熊田洋子)

崎を訪れる修学旅行では、『地震や原発の問題に揺れる福島』から被爆地への訪問ということで、たくさんの方々からあたたかいお言葉をかけていただけたり、交流先の聖マリア学院小中学では多くのテレビ局や新聞社の方々から取材攻めに会い、子どもたちはとまどいながらも自分たちの置かれている現状から未来に向けてのメッセージを言葉にしていました。

《県立》安積25名、安積黎明12名、郡山4名、郡山商業3名、あさか開成2名、郡山北工業・郡山萌世・白河旭・橘／各1名
《県内私立》日大東北16名、尚志2名、桜の聖母学院・星槎国際／各1名
《県外》慶應湘南藤沢・立教新座・日本橋女学院・光塩女子学院・花咲徳栄／各1名

／各1名

2011.3.11

東日本大震災



■進む校庭の表土除去作業



夏祭りは体育館で
(2011年7月20日)

その時、私は

震災と新時代

中学校3年 安藤和音



Dream

大震災は、突然やってきました。卒業式で先輩達を送り出し、家に帰り、部屋に戻って座っていたら、いきなり揺れを感じました。まさかその揺れが何年間も自分達を苦しめることになるとは露知らず、部屋の中でやり過ごそうとしていた僕は数秒後には認識を改めていました。揺れがおさまるまでどうしていたのかは覚えていませんが、家の中は酷い有様で、地震のすさまじさを物語っていました。

翌日からの生活も大変で、水も食べ物も普段のように手に入らず苦労し、正しい情報も入らず、余震はいつまでも続き、原発事故が不安をあおりました。やっと学校が始まても余震におびえて満足に授業すら受けられず、揺れが大きい時には泣き出す人までいました。

半年が経った今だからこそ、こうして振り返ることができます、まだ全てが終ったわけではないと思います。むしろ、今の僕達が立っているのはスタートラインなのではないでしょうか。僕はこれから時代を周りの人と助け合って生き、そして完全な復興を目指して活動したいと思っています。東日本大震災という災害を収束させ、新しい時代が来る事を願います。

2011年3月11日14時46分

中学校教諭 深谷純子
(平成元年・中学校23回卒)



その日は中学校の45回目の卒業式でした。式が無事終わり、皆と共に卒業式に出られなかった生徒に音楽室で卒業証書を授与し、見送った直後。猛烈な揺れが学園を襲いました。下校時刻直前で、マリアの広場には小学1・2年生や保護者、中学生が多数いました。また、小学3～6年生は授業中、幼稚園にも預かりの園児がいてそれぞれに活動中でした。いつまでも続くかに思えた強い揺れが治まり、小学校の校舎に入ると、あちこちの棚が倒れ、防火扉が閉まり、学習センターの本が散乱し、埃がもうもうと舞う中で、小学生は泣き叫びながら机の脚に必死でしがみついていました。一体何が起こっているのか、これから何が起きるのか……その時は全く想像もできませんでした。ただ、子ども達を守るだけで精一杯でした。

校舎内外の子ども達をスクールバスに避難させ、保護者にすべての子どもを引き渡せたときには23時を回っていました。けが人が一人もいなかたのはきっとこの学園が神様に守られていたからでしょう。

未だに収束の気配が見えない原発事故の影響が学校生活にも重くのしかかるなか、ここ郡山から福島の、日本の復興のために活躍できる人材を育成すべく、努力しています。



母校バザー

平成23年10月30日(日)

菊香る季節となりました。学園恒例のバザーが今年も開催される事となり「同窓会ココナ」を設けます。物品販売と喫茶を同窓生諸氏や新卒の高校生らが心をこめて運営しています。頑張っている郡山の母校に久しぶりに一人でも多くご来場され、なつかしいひとときを過ごされるよう願っています。震災を越えて「絆」の大切さを再認識しましたが、それはそのまま、学園の愛の教えそのものです。

同窓会ではバザーで販売する物品等のご協力をお願いしています。10月29日までにザベリオ学園内同窓会事務局宛にお願いします。(バザー委員長原)

3月／4月 母校入学式・卒業式
出席(幼稚園・小学校・中学校)
6月第4土曜日 同窓会総会開催
10月第4曜日 母校バザー協力

同窓会の主な活動

ジャネット・デリル(ジョゼフ)先生
ジャニン・ブランシャール先生
ルシール・アダム(オクタビ)先生
リタ・ブレ先生
リタ・マルテル(グレゴワール)先生
テレーズ・ラリベルテ先生
ジゼル・ランベール先生
セシリア林邦子先生
アガタ・ボルジュック先生

●ご帰天なされたシスターを
会津若松にいらっしゃる藤松
先生にお伺いいたしました。
先生には、大変お世話にな
りましたこと、同窓生一同、
心より感謝致します。

同窓会総会日程

毎年6月第4土曜日
午後4時 母校

平成17年度同窓会総会にて、
同窓会総会を原則毎年6月第4
土曜日に開催することが決議さ
れました。予算の関係上、同窓
会会報を毎年発行できないこと
もあり日程を皆様に周知するこ
とは難しい現状です。是非とも
ご記憶いただき、お誘い合わせ
の上ご参加下さいますようお願
い申し上げます。来年は平成
24年6月23日(土)を予定して
おります。詳細は同窓会事務局
までお問い合わせください。(Y.A)

同窓会へ寄附のお願い

同窓会では、母校への貢献をはじめ、さまざまな活動を行っていきたいと考えております。毎年、新同窓会員からは入会金の提供がありますが、活動を継続するためには十分ではありません。そこで、広く同窓生の皆さんに寄附を募っております。趣旨を御理解の上、引き続き皆様から温かい御芳志をお願い申し上げます。

一口 1,000円
(何口でも)

郵便振替・02260-8-63131番

郡山ザベリオ学園同窓会

郵便振込票を18才以上の方に同封しています

銀行口座・東邦銀行郡山支店 普通預金

口座No./2117015

郡山ザベリオ学園同窓会 会長 安藤昌廣

(振込手数料は各自ご負担ください)

振込手数料は各自ご負担ください

お名前の他に、卒年(回)もご記入ください。

住所変更の際は「変更」と明記お願いいたします。

会報にお名前など掲載不可の方は通信欄にその旨お書き添え下さい。

遠藤靖枝展 神間たち

遠藤靖枝先生と美術部OGによる展覧会は
今年で6回目になります

した。同窓会もご招待を頂き毎年訪れています。版画には、手作りの温かさと独特のユーモアを感じます。そして、今回目を引いたのは、先生の帯で作った掛軸に先生が詠まれた川柳が書かれていた作品でした。先生は新しい事に挑戦されている様です。震災にめげる事なく我が道を行く先生。美術を通して教え子たちと強い絆で結ばれているのだと感じました。今後も先生と同窓生の作品を楽しみにしています。(阿部)



昨年の写生会

各種お問合せ、ご連絡は学園内同窓会事務局まで

同窓会は……昭和39年(1964年)1回生が小学校を卒業し、現在の同窓会は昭和43年(1968年)に発足。平成23年(2011年)で43周年を迎えました。同窓会会員は、郡山ザベリオ学園小学校または同中学校を卒業した方および関係職員です。学園小学校より中学校に進学された方は中学校卒業時に当同窓会会員の資格が得られます。学園小学校卒業と同中学校卒業とでは会員資格を得る年度は異なりますが、卒業回数は同じです。今年は、小学校48回卒、中学校45回卒の方が新会員となられました。

編集後記

東日本大震災の時、幼稚園には預かり保育の園児が、小学校にはたくさんの児童が、卒業式後の中学校にも生徒がいました。しかし、怪我をした子供はいませんでした。神様の御加護に心から感謝します。そして、その後の学園に寄せられた暖かいメッセージや励ましと、たくさんの支援物資に、疲れました。心も救われました。神の偉大な愛と、人間と人間の優しいつながりは、計り知れない奥の深いものだと気付かされました。学園に在籍する同窓生の一人として、同窓の皆様から後輩の生徒達への激励を是非お願いしたいと思います。どうぞ学園に足をお運び下さい。福島県に住む私達には、つらい日々が続いていますが、幸せな未来を信じ、毎日を「清く・明るく・強く」生きていくたいと思っています。(Y.A)